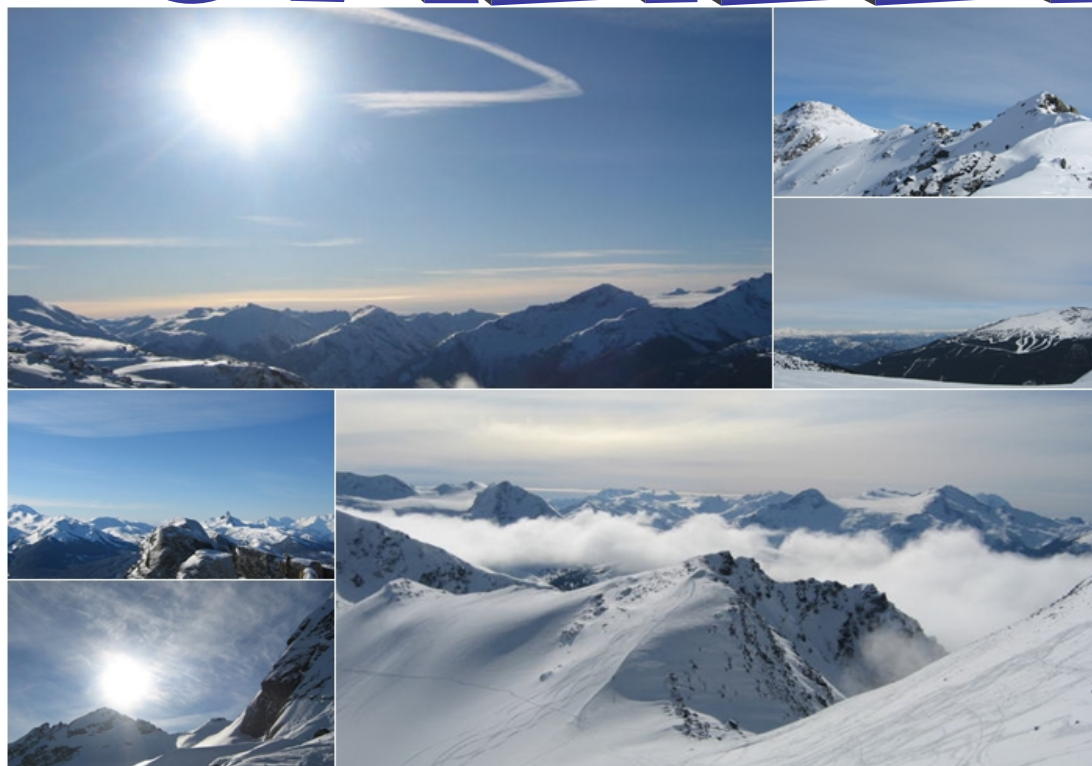




教育センター・育成センター所報

GALILEI



厳冬の山々

新しい教育 柏崎からの発信

インターネット(カラー)版は
「柏崎市教育情報支援システム」
を検索し、トップ画面右上の所報
「GALILEI」をクリックすると閲覧
できます。

平成 24 年 1 月号

柏崎市立教育センター
柏崎市青少年育成センター

1月号 CONTENTS



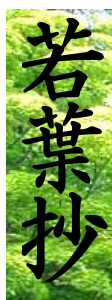
○ 今月の巻頭言	役割を自覚して生きる 柏崎市教育委員会 教育長 大倉 政洋	1
○ 教育センターたより		
● アクセス（教育研究班）	教職員専門研修講座の様子 スクールオフィス情報 他	2
● プロジェクト K（教育研究班・科学技術教育）	研修会・事業の一コマ 紹介します！おすすめ教材！ 他	6
● 心の窓（教育相談班）	自分の思いを白い紙に書く 2月の予定	8
○ 所員随想「つれづれ」	猪俣 敏郎 今井 則子	9
○ 2月の行事予定表		10
○ 12月の教育センター参加・利用状況		11
○ 第10回柏崎の教育を語る会ポスター		12



◆教育を取り巻く環境が大きく変化し、子どもたちのモラルや学ぶ意欲の低下、家庭や地域の教育力の低下などを背景に、平成18年12月に「教育基本法」が改正されました。そして「生涯学習の理念」（第3条）や「家庭教育」（第10条2項）、「幼児期の教育」（第11条）、「学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力」（第13条）の4つの規定が新たに設けられました。

特に学校教育と関わりの深い第13条には、「学校、家庭及び地域住民その他の関係者は、教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚するとともに、相互の連携及び協力に努めるものとする。」と明記されました。

さて「学校が家庭や地域に対して閉鎖的である」という指摘は、以前からしばしば耳にするとところでもあります。子どもの教育は学校・家庭・地域との連携・協力なしには為し得ないとすれば、学校が家庭や地域に対してもっと「開かれた学校」となり、積極的に働きかけを行い、家庭や地域とともに子



どもたちを育てていくという視点に立った学校運営を心がけることが極めて重要となります。

柏崎市内でも地域と連携した様々な取組を意図的・計画的に行い、成果を上げている学校があります。また「学校だより」や「ホームページ」を積極的に活用して、情報発信に努めている学校もあります。

私たちも「開かれた教育センター」を目指し、所報「ガリレイ」（月1回発行、Web版もあり）や「教育情報支援システム」（ほぼ毎日更新）などを通じて、様々な情報を積極的に発信するとともに、いつでも気軽に支援に応じられるような垣根の低い教育相談体制づくりを心がけています。

新しい年を迎えました。教育センターも3月末には新潟産業大学B号館への全面移転が予定されています。これからは日常業務と並行して引っ越し業務も加わり、何かとあわただしい年度末を迎えます。（nh）

今月の巻頭言

役割を自覚して生きる

柏崎市教育委員会
教育長 大倉 政洋



新聞で紹介されていた67歳の女性の話です。

宮城県気仙沼市の仮設住宅で暮らしているHさんは、5年前に、入院中の父親の世話をするために、群馬県から気仙沼市に帰って来ました。その時、新聞広告で気仙沼高校定時制の生徒募集を知り（ちょうど、ご主人をがんで亡くされたこともあって）、Hさんは、気仙沼市に移り住み、高校進学之梦を果たします。

ところが、卒業まであと1年という去年の3月11日の大震災。大津波で、妹を失い、ふさぎこみ、高校への足も遠のきます。しかし、「一つの思い」を抱いて、5月から、再び高校に通い始めます。そして、この3月に卒業……。

ここまでの「前向きさ」だけでもすごいなあと感心させられますが、Hさんには、続きがあります。次の夢に向かって更に前に進もうとしているのです。震災でふさぎこんだ経験のあるHさんは、「精神保健福祉士になり、震災で傷ついた人たちを支えたい。仮設住宅暮らしで放心状態の人は、たくさんいる。そうした人の支えになりたい」と決意するのです。それが「一つの思い」です。仮設住宅の一室で小さなコタツに教科書を並べ、毎日、夢に向かって生きているHさんは、群馬県（長男家族が暮らす）にある東京福祉大学の推薦入試に合格。4月からは、67歳の大学生です。そして、きっと71歳から、精神保健福祉士として働き始めることでしょう。年齢など、関係ありません。自身の「役割」を自覚した素晴らしい生き方です。

さて、「役割」というといつも思い出すのは、芥川賞作家の新井満氏です。新井氏は若い頃、重い病気にかかり入院生活を送ります。病院近くの道で、黄色いレンギョウの花の美しさに感動し、たまたま通りかかった男性に教えます。男性は「うっかり通りすぎるところでした。花の美しさに気付かせてくれてありがとうございます」と答えます。新井氏はその時に、人生における自分の役割を自覚したと言うのです。「人の気付いていない美しさを教えてあげる仕事をしよう」と。それが、文学であり、音楽であるわけです。

「学ぶことは楽しい」教育に携わる大人は、学び伸びゆくみずみずしい子どもたちに、そう気付かせる「役割」を担っています。自覚して、仕事に邁進したいものです。

教職員専門研修講座の様子



11月末から12月に実施した講座の様子についてお伝えします。
講師先生はじめ、受講されたみなさんのお陰で、とても充実した研修を行うことができましたこと感謝申し上げます。

11月28日(月) 中学校英語教科指導法 中越教育事務所指導主事 小林 恵子 様

■ 講座の様子

中越教育事務所から小林恵子指導主事を講師に迎え、英語科における教科指導法について、模擬授業を交えながら体験的に理解を深めました。「教える授業から気付かせる授業にしていくこと」「活動のやらせっぱなしではいけない、活動をいかに評価していくかが大切」「一部の生徒だけで進めないこと」など、授業改善のポイントや注意点について、具体的に提示していただくことで明日からの実践に結びつく有意義な研修を行うことができました。



■ 受講者の感想から

◇今日の講座は本当に役に立ち、自分の引き出しが増えました。ワンパターンになりやすいアイスブレーキングのアイディアも教えていただきました。学年やレベルに合わせて活用させてもらおうと思います。また、どれだけ定着させるか、なぜその活動を行うのか、そして最後に定着しているかの確認を徹底しなければと改めて感じました。少しずつでも、小林先生の授業に近づけるように努力していきたいと思います。また、この機会があれば、ぜひ参加したいです。

11月29日(火) 同和教育現地研修 部落解放同盟新潟県連合会上越支部長 渡邊 秀明 様

■ 講座の様子

専門研修講座としては、5年連続で実施している現地研修会です。昨年度に続き、部落解放同盟新潟県連合会上越支部長の渡邊秀明様から直接お話を聞くことができました。過去の差別事象を例に、一見気づかないで通り過ぎてしまっている差別の実態やかかわる同和教育の意味等について、親身にご教示をいただきました。明日からの教育実践、私たち自身の生き方を見つめ直す貴重な時間となりました。



■ 受講者の感想から

◇同和教育は人権教育そのものであることを改めて確認する場となりました。失敗してもいいから、同和教育の授業に挑戦することが大切という言葉に、とても励まされました。クラスの子どもたちが一人一人の違いや個性を認め合えるような仲間づくりができるよう、日々の教育の中で生かしていきたいと思います。ありがとうございました。

12月7日(水) 授業におけるICT活用(算数・数学) 上越教育大学准教授 中野 博幸 様

■ 講座の様子

算数・数学科における分かる授業のためのICT活用のあり方について研修しました。講師に上越教育大学特任准教授の中野博幸様をお迎えして、デジタル教科書の使用法やパワーポイントによる教材の作り方等について、実技を交えながら理解を深めました。

■ 受講者の感想から

◇学校にあるデジタル教科書が提示に適したものであるということが改めて分かりました。拡大コピーや児童と作った図形を繰り返し使用しながら日々授業をしています。パソコンでも同じことができると分かりました。デジタル教科書でなく、パワーポイントやエクセルでも教材が作れるとのこと、試してみたいと思います。



12月8日(木) 学校事務職員研修Ⅱ 柏崎市立教育センター 情報教育主事 田村 実

■ 講座の様子

柏崎市では、「教育の情報化推進プラン」を19年度に策定し、計画的に各種の整備を進めています。今回は、校務の効率化における柏崎市の現状と改善のポイントについて、田村実情報教育主事から具体的に提示していただき研修を深めました。校務の効率化や市としての標準化に向けた事務職員の役割や今後進めていきたい方向性について共有できた研修でした。

■ 受講者の感想から

◇市内の学校に共通している問題点と改善ポイントがクリアに示され、また具体的な解決の糸口にも触れていただきました。膨大な内容を、分かりやすいコンパクトな資料にもしていただき、本当にありがとうございました。課題はたくさんありますが、無駄な手間を省いて、よりよい教育環境を築いていけるように頑張っていかなければならないと実感しました。



12月13日(火) 子どもも教師も元気が出る授業づくり 岡山大学大学院教授 佐藤 暁 様

■ 講座の様子

個別の支援や配慮の必要な子どもを含めた「すべての子どもの主体的な学びと育ち」の実現、一人一人をつなぎ協同学習を充実させるための「教師の役割」について、荒浜小学校6年生理科の授業と協議会をとおして研修しました。一人一人の子どもの学びと育ちをきちんと見取るということの大切さ、そして、それをもとに語り合い共有していく協議会の実際について、大いに研修を深めることができました。各校における授業実践や校内研修に生かしていただければ幸いです。

■ 受講者の感想から

◇佐藤先生の授業を見る目、子どもを見取る目に驚きました。その目に支えられて、荒浜小の先生方が熱心に授業を分析し、子どもの見取りを披露していることに感激しました。ありがとうございました。
◇特別支援の必要な児童に、多くの児童による支援があることが分かりました。日ごろから周りの子をよく育てているので特別支援の子も学習に参加できたのだと思います。たいへん勉強になりました。



■ 柏崎教育情報支援システム情報

講習会のテキスト・資料を登録しました

実施日	講座名／資料名
12/16	139_スクールオフィス指導要録作成（作成編）講習 NO22_小学校成績管理指導要録様式 1 作成編.pdf(テキスト第 1.1 版) NO23_小学校成績管理通知表作成編.pdf(テキスト第 1.1 版) NO24_小学校成績管理指導要録様式 2 作成編.pdf (テキスト第 1.2 版) 成績管理コピー貼り付け用サンプルシート.xls(通知表、指導要録様式 2 用のコピー貼付用サンプルシート)
12/26	111_デジタルビデオ編集入門 デジタルビデオ編集入門.pdf (テキスト第 9 版) デジタルビデオ編集作業手順.pdf (編集作業手順概要) 演習タイムライン説明.pdf (演習で作成するビデオのタイムライン説明資料) フリーソフトウェアによるビデオ形式の変換.pdf (テープではないカメラのデータを編集可能な形式に変換する手順) フリーソフトウェアによる DVD オーサリング.pdf (フリーソフトウェアを利用した DVD オーサリングの手順)

■ スクールオフィス情報

区域外就学に関する指導要録様式 1 の記入について

区域外就学・学区外就学となる児童の様式 1 の記入の仕方について、コンテンツサーバの「スクールオフィス」のページに資料を登録しました。東日本大震災による避難児童に関する記入の参考にして下さい。「NO22_小学校成績管理指導要録様式 1 作成編.pdf」の補足資料として、「指導要録の出力項目_小学校.pdf(H24.1.10 第 1.1 版)」の名称で登録してあります。

スクールオフィス上の情報と、出力される様式 1 の各欄との関連と入力・記入時の注意事項を説明しています。

「入学」と「転入」の場合に分けて、手書きなどで記入する情報の例を示しています。

入学の例

氏名: 山田 真 性別: 男 学年: 1 年 学期: 1 学期 入学: 2024.04.01

転入の例

氏名: 山田 真 性別: 男 学年: 1 年 学期: 1 学期 転入: 2024.04.01

■ 情報関連講習会のご案内

2 月に実施される講習会

◆H24.2.14(火) スクールオフィス年度更新講習

スクールオフィスでは、次年度の準備を始めるための「仮年度更新」と、年度末に年度を切り替えるための「年度更新」の処理が必要です。この講座では「仮年度更新」「年度更新」の役割、「年度更新」のために準備しておくべきこと(教職員名簿の管理など)を学習します。

◆H24.2.22(水) 疑問やトラブルに答える フリーQ&A その9

ICT 活用に関すること、パソコンのトラブルや疑問など、自由に相談できる機会を設けました。前日までメールや電話で相談内容をご連絡頂ければ、内容に応じた準備をさせていただきます。

■ セキュリティ情報

セキュリティアップデート情報

マイクロソフトより、12 月 30 日付で緊急の更新として、また 1 月 11 日付で 1 月の定期更新として、Windows などの重要な更新が下記のように公開されました。まだ Update が済んでいないようでしたら、至急 Windows Update などを実施していただくようお願いします。

2011/12/30 に緊急リリースされた更新

No.	更新の内容	対象	深刻度
	MS11-100 .NET Framework の脆弱性に対処 .NET Framework の脆弱性により、特権が昇格される (2638420)	Windows XP/Vista/7, 2003/2008Server	緊急

今月の定期更新

No.	更新の内容	対象	深刻度
1	MS12-001 Microsoft Windows の脆弱性に対処 Windows カーネルの脆弱性により、セキュリティ機能のバイパスが起こる (2644615)	Windows XP/Vista/7, 2003/2008Server	重要
2	MS12-002 Microsoft Windows の脆弱性に対処 Windows オブジェクト バックージャーの脆弱性により、リモートでコードが実行される (2603381)	Windows XP, 2003Server	重要
3	MS12-003 Microsoft Windows の脆弱性に対処 Windows クライアント/サーバー ランタイム サブシステムの脆弱性により、特権が昇格される (2646524)	Windows XP/Vista, 2003/2008Server	重要
4	MS12-004 Microsoft Windows の脆弱性に対処 Windows Media の脆弱性により、リモートでコードが実行される (2636391)	Windows XP/Vista/7, 2003/2008Server	緊急
5	MS12-005 Microsoft Windows の脆弱性に対処 Microsoft Windows の脆弱性により、リモートでコードが実行される (2584146)	Windows XP/Vista/7, 2003/2008Server	重要
6	MS12-006 Microsoft Windows の脆弱性に対処 SSL/TLS の脆弱性により、情報漏えいが起こる (2643584)	Windows XP/Vista/7, 2003/2008Server	重要
7	MS12-007 AntiXSS Library の脆弱性に対処 AntiXSS Library の脆弱性により、情報漏えいが起こる (2607664)	Anti-Cross Site Scripting Library 3,4	重要

注意 警告 重要 緊急 は右側ほど深刻度が高く、緊急の対応を要します。

研修会・事業の一コマ

・・・ 研修会の様子&参加者の声など ・・・

○ 小学校3学年「じしゃくのひみつ」(12月26日実施)

◇内 容 まず本単元で押さえるべき内容や問題解決能力を確認した後、永久磁石の種類、特徴、磁化の原理、磁石の保管方法、などについて研修しました。その後、磁化用コイル（付磁器）を用いての着磁やビニタイ（針金をビニールテープではさんだ園芸用リボン）を1cm位に切ったもので磁界の広がりを観察しました。目に見えない磁力を具象化してとらえさせる一つの方法と考えます。理科室にある実験用磁石は両端に極があるものがほとんどですが、一般に市販されている板磁石は交互にいくつもの極があるものがあります。これらの性質を利用して簡単に作れる「ひらひらちょう」や「マグぴょん」などのおもちゃを作りました。



○ 小中共通「おもしろ科学工作」(1月5日実施)

◇内 容 小中学校ともに、理科授業の中でもものづくりが取り上げられています。学んだことを利用する場として、また、原理や法則の理解を深めるためにも大切なことと思います。さらには、科学工作は子どもたちにとって、科学への興味や関心を深めるきっかけにもなります。研修会では、各学年の内容で考えられるものづくりを紹介したり、過去の青少年のための科学の祭典で紹介した科学工作を行ったりしました。



○ 教職員理科研究発表会 (1月13日実施)

◇内 容 第1部では小・中学校各4人の先生方の実践発表をしていただき、それぞれの発表について、市教委の品田主幹、南中学校の鈴木恒夫先生からご指導をいただきました。第2部では上越教育大学小林辰至教授から「観察・実験に見通しをもたせる理科指導の実際～The Four Question Strategy(4Qs)による仮説設定」という題目で御講演いただきました。

実践発表では、小学校部門・中学校部門の2会場に分かれて発表会を行いました。新学習指導要領で加わった「実感を伴う理解」や「言語活動の充実」に関わる実践報告が多かったようです。

また、講演会では、4Qsについて詳しいお話を聞くことができました。4Qsは、子どもの経験や知識をもとに仮説を立てさせるための手立てです。4Qsのシートをどのように活用するのか、どのような単元がむいているのかなど、具体的なお話を聞くことができました。

当日の資料がまだ少し残っています。ご希望の方がいらっしゃいましたらお声掛けください。



★紹介します！おススメ教材！

道具の貸し出しや提供を希望される方は、科学技術教育センター（電話20-0212）にご連絡ください。

※センターの教材については、貸し出し期間は原則1週間です。ほかに予約が入っていないければ延長することも可能です（要電話連絡）。



新規購入「レコロ」

昨年度購入
「ガーデン
ウォッチカム」



○インターバルレコーダー「レコロ」

最近、動画サイトで人気の※インターバル撮影が簡単にできます。撮影した映像は、特別なソフトを使わずに、メディアプレーヤーで動画再生できます。防雨設定ではありますが、野外での長期間の撮影は以前紹介した「ガーデンウォッチカム」がむいています。室内お手軽撮影はレコロ、長期間の野外撮影はガーデンウォッチカムがおすすめです。※インターバル撮影：設定した時間ごとに自動的に写真を撮ること。

○実験用カセットコンロ（8セット）

実験用カセットコンロを買い足し、8セットそろえました。4人班での実験も可能です。ガスボンベとセットでお貸しできますが、使用中に使い切った場合には、各自で補充をお願いします。

ご協力ありがとうございました

○理科教育に関する意識調査（小学校）

県内の市町村立小学校（新潟市を除く）の先生方を対象に抽出で理科教育に関する意識調査を行いました。忙しい中、ご協力いただき、ありがとうございました。

今後、他の地区の回答と合わせて集約・分析を行います。結果は、4月ころ出る予定ですので、結果が出次第、報告します。アンケートで明らかになった結果は、今後の理科教育センター（科学技術教育センター）の運営に生かしたいと思います。

心の窓

No.149

〒945-0833 柏崎市若葉町2-31

TEL 0257(23)4591 (代表)

FAX 0257(23)4610

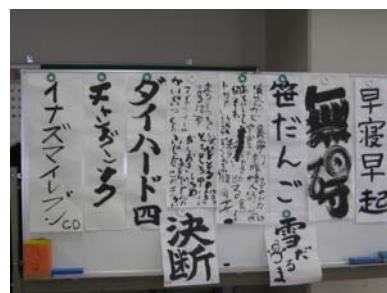
ふれあいルームから

自分の思いを白い紙に書く



1月12日(木) 10時からふれあいルームで恒例の書初めをおこないました。学校へ登校している通級生もいたので少人数でしたが、かしこまらず楽しみながら思ったことを書いてみました。始める前に白い紙を見た瞬間一人の通級生が「白い紙に書くのか・・・。」とつぶやきました。何もない紙の上に自分の手を使って、自分で考えた言葉を書くことは、一見自由で楽しそうですが、身構えてしまうほうが強くしばらくは筆が動かない通級生たちでした。

しかし、時間の経過とともに、部屋の雰囲気がざわついてきたあたりからそれぞれ筆を動かし始めました。どちらかというと、表現が苦手な通級生ですが十分な時間を確保することで、自分なりのタイミングでアクションを起こすことが出来ます。願わくば、今年の意気込みや願いを書いてほしいところもありましたが、自分の思いつく言葉を書くことが精一杯だったようです。十分な時間をかけ、自由な設定で2012年初のふれあいルームの行事をおこないました。とりあえずは、3月まで、様々なことを体験し、自分に自信を持つことでエネルギーを蓄え、それぞれの目的に向かって今年も挑戦してほしいと願っています。頑張れ！！通級生！！今年もふれあいルームをよろしくお願いします。



(文責 ふれあいルーム指導員 池田恵里子)

教育相談班 2月の予定

《カウンセリングルーム》

いろいろ体験グループ(SST) 保護者会

- 3日(金)15:00～16:30 小学生 Aグループ
- 10日(金)15:00～16:30 小学生 Bグループ
- 17日(金)15:00～16:30 小学生 Cグループ
- 23日(木)15:00～16:30 中学生第1グループ
- 24日(金)15:00～16:30 中学生第2グループ



《ふれあいルーム》

- 1日(水) スキー教室
- 21日(火) バス課外活動
- 23日(木) ソフィアセンター
- 29日(水) 三送会
- (中3通級終了日)

待ち遠しい アルフォーレ

青少年育成センター

指導員 猪俣 敏郎

毎日、通勤途中で見える文化会館「アルフォーレ」が日に日にできあがっていく様子を楽しみにしている。いよいよ赤茶色の外壁の建物が見えてきた。この3月の完成に向けて順調に工事が進められている。中越沖地震により、今までの市民会館は建物に甚大な被害を受け、やむなく解体してから、まもなく5年目を迎えるが、ようやく待望久しかったアルフォーレが震災復興のシンボルとして蘇る。

若い時に私は、市民会館の舞台の仕事をしていたことがある。会館がオープンして間もない1970年代の頃だ。当時は、フォーク・ニューミュージックが全盛期であり、いろいろなコンサートが行われた。若い人は多分知らないと思うが、かぐや姫、ビリー・バンバン、チェリッシュ・・・などのステージが今は懐かしい。旧市民会館には、楽しい「青春の思い出」がたくさん詰まっている。

今度できるアルフォーレでは、多彩なコンサートや催しものに、多くの出会いと感動を求めて、第二の人生を楽しみたいものだ。新文化会館の愛称「アルフォーレ」は、フランス語の（アール：芸術）と（フォレ：森）を組み合わせた造語で「芸術の森」を意味する。このアルフォーレに多くの人が集い、芸術文化活動の拠点施設になることを期待し、今夏のオープンが待ち遠しく思う今日この頃である。

笑い与健康

庶務 今井 則子

年齢とともに、健康面に気をつけるようになりました。と言っても、運動や健康食品に時間や労力、金銭をかけることには限界があります。そこで、簡単な健康法を心掛けることにしました。それは「笑い」です。

気持ちの良い「笑い」は、その日一日を明るくするだけでなく、身体的・精神的な健康を維持するのに役立つようです。ある本の中で「科学者たちの計算によれば、わずか30秒楽しく笑うことは、45分じっと休むことに相当する。また自然に1回大笑いすることは3分間のエアロビクスに匹敵し、10回の温かいほほえみは10分間のボートこぎ運動に等しい。ほかに、笑うと肺に吸い込まれる空気の量が3倍に増え、血行、消化、新陳代謝、脳機能が良くなり、有害物質が除かれるといった益もある。『自分を笑えるように』、また『困難な状況にあっても物事の良い面を探すように』」とありました。

更に、「笑い」は怒りを和らげることもあるようです。怒るのは健康に悪い（とりわけ心臓に負担をかける）ことは周知のとおりですが、「笑い」は怒りの気持ちを処理する方法の中でもとりわけ積極的な方法の一つとされています。

このように「笑い」が健康に良いと分かっていても、いつも笑って過ごすことにはどうも無理があります。ですからせめて「笑い」を生活に意識的に取り入れて、心身ともに健康になりたいと思っています。

####

平成23年度 月間予定表

2月

柏崎市立教育センター

日	曜	研修・行事・会議	内部事務▼・出張等	関係事業・施設貸出等
1	水		▼所内会議 13:00	
2	木		子ども安全ネット会議（所長）13:30	
3	金	科・県地区セン幹事会③ 相・いろいろ体験G小A	メンタルヘルスセミナー（所長）13:30	
4	土			
5	日			
6	月		思春期精神保健関係者会議（心のケアセンター；小林）14:30	
7	火		教委課長会議（所長）【13:30】	育・昼間育成（16:00～18:00）
8	水	努力点説明会 ふ・スキー教室	キッズサポート（元気館；小林）13:30	
9	木	高校推薦面接日 新大附属新潟小研究会	学校評議員会（翔洋；中山）14:20	
10	金	新大附属新潟小研究会 相・いろいろ体験G小B 保護者会	青少年育成委員研修会（所長）	育成委員座談研修会及び情報交換会 市民プラザ学習室他15:30～
11	土	建国記念の日		
12	日			
13	月	相・班会議		
14	火	情・スクールフィス年度更新講習（15:00～16:45）	就学指導委員会反省会（第二分館；小林・矢嶋）15:30	
15	水	教育センター運営委員会10:00～12:00		心の教室相談員研修会15:00～16:45
16	木	研・若手教員研修閉講式	木曜研（精神医療センター；矢嶋）13:30	
17	金	市教育委員会表彰式 相・いろいろ体験G小C 保護者会	教育委員会表彰（所長）15:00 上越地区知的障害施設職員合同研修（ワークプラザ；小林）13:00	
18	土	第10回柏崎の語る会（9:00～12:00）	第10回柏崎の教育を語る会9:00～12:10	
19	日			
20	月		教委課長会議（所長）【13:30】	
21	火	ふ・バス課外活動	定例教育委員会（所長）13:30 社会教育委員会（市民プラザ；中山）10:00	
22	水	情・疑問やトラブルに答えるフリーQ&A⑨	文教経済常任委員会（所長）10:00 キッズサポート（元気館；矢嶋）13:30	育・昼間育成（16:00～18:00）
23	木	ふ・ソフィアセンター 相・いろいろ体験G小C 保護者会		
24	金	相・いろいろ体験G中② 保護者会		特別支援学級担任研修会（15:00～）
25	土			
26	日			
27	月	相・班会議		
28	火			
29	水	ふ・中三生徒通級終了日 3年生を送る会	スクールサポート全体会（第二分館；小林）14:30	
研・教育研究班 科・科学技術教育 相・教育相談班 ふ・ふれあいルーム 情・情報教育研修 育・育成センター 【 】は未確定の行事・時間				

平成23年度 柏崎市立教育センター参加・利用状況

研 修 講 座 ・ 事 業 名		9月の 利用数	10月の 利用数	11月の 利用数	12月の 利用数	H23年度 利用合計数	
教育 研究 班	専門研修講座(情報・科学を除く) *	7回	2回	8回	4回	61回	
		250人	94人	502人	131人	1937人	
	共催研修、研修講座	0回	0回	5回	0回	7回	
		0人	0人	446人	0人	541人	
	調査研究員会,教科研修員会	0回	0回	0回	0回	5回	
		0人	0人	0人	0人	31人	
	教育情報化研修講座 *	4回	2回	3回	5回	52回	
		14人	1人	9人	96人	444人	
	情報教育主事の要請支援等	14回	9回	10回	7回	88回	
128人		46人	28人	18人	742人		
その他の相談・利用・参加数	0回	0回	0回	0回	1回		
	0人	0人	0人	0人	22人		
教科書センター利用閲覧数		9人	8人	21人	18人	340人	
教育 研究 班 ・ 科 学 技 術 教 育	理科研修講座 *	0回	2回	2回	2回	21回	
		0人	25人	13人	16人	220人	
	学校等の要請研修	1回	1回	2回	0回	17回	
		113人	32人	5人	0人	868人	
	地域の自然研修・観察会	0回	0回	0回	0回	3回	
		0人	0人	0人	0人	53人	
	科学教育振興事業(科学の祭典・科学教室等)	2,425人	0人	800人	0人	5996人	
	理科教育の相談・支援	14件	4件	8件	5件	84件	
	理科教材・物品の貸出	10件	10件	14件	7件	64件	
(教職員研修の合計)	2人	28人	18人	16人	276人		
教育 相 談 班	カウンセリングルーム来室相談	新規相談件数	19件	15件	14件	10件	191件
		のべ相談件数	104件	83件	82件	80件	699件
	学校訪問相談		11回	7回	10回	7回	86回
	電話相談		2件	1件	4件	0件	14件
	ソーシャルスキルトレーニング	0回	5回	5回	5回	31回	
		0人	27人	27人	26人	170人	
	ふれあいルーム在籍人数	小学生	7人	7人	8人	8人	50人
		中学生	9人	9人	10人	10人	83人
	ふれあいルーム通級日数		20日	20日	20日	16日	152日
	ふれあいルーム通級のべ人数	小学生	71人	68人	78人	65人	380人
		中学生	86人	88人	94人	73人	678人
ふれあいルーム学校復帰人数(部分復帰を含む)		13人	10人	12人	11人	82人	
教育団体, P T A, 市民等の利用		276人	237人	124人	140人	2227人	
教育センター事業の参加・利用総数		3,532	746	2,279	692	15,787	

教育センターにおける教職員研修講座 (* 印の合計)	11回	6回	13回	11回	134回
	264人	120人	524人	243人	2,601人



柏崎の子どもたちの

輝く未来のために

～一歩踏み出そう 具体的アクション～

第10回

柏崎の教育を語る会

日時：2012/2/18(土)
9:00～12:10

会場：柏崎市立教育センター

【趣旨】

多様な立場や角度から「柏崎の教育」をテーマに語り合うことをとおして、未来の柏崎や柏崎を支える子どもの教育の在り方を考える場とする。
併せて、参加者相互の交流を図り、園・学校や地域、家庭が連携して行う教育の実現に寄与していく。

【連絡先】

TEL：0257-23-4591 FAX：0257-23-1168
E-mail：yazawa@kenet.ed.jp
柏崎市立教育センター教育研究班 指導主事 矢沢欣也

ガリレオ・ガリレイはイタリアの天文学者
で近代科学の父と言われ、経験的・実証的方
法を用いる近代科学の端緒を開いた人です。

新しい教育の創造を志向する私たちにも
ガリレオ・ガリレイのごときたゆまざる創造
と検証の精神が必要であるという趣旨から
情報紙の名称を「GALILEI」としています。

教育センター・青少年育成センターの情報
とともに、柏崎の教育を広く発信していきま
す。

所報「GALILEI」 平成24年1月末日発行

編集・写真提供 中山 博迪

「ガリレイ」に関する意見・感想は、下記へ

E-mail nakayama@kenet.ed.jp



柏崎市立教育センター

TEL(代表) 0257-23-4591
FAX(代表) 0257-23-4610

教育研究班・情報教育 TEL・FAX 23-1168
教育研究班(科学技術教育) TEL 20-0212 FAX 20-0205
教育相談班(カウンセリングルーム) TEL 32-3397
// (電話相談) TEL 22-4115
E-mail k-center@city.kashiwazaki.niigata.jp

柏崎市青少年育成センター

TEL(代表) 0257-20-7601
FAX(代表) 0257-23-4610

〒 945-0833 新潟県柏崎市若葉町 2-31